



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2023.9-10

No.460

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



越谷市における

ねぐら

カラス集団罫の個体数調査

山部直喜(三郷市)

本調査は、2001年より2022年までに計16回、12月中旬の15:00～17:00において、越谷市の武蔵国越谷郷久伊豆神社周辺(地図参照)で実施された。各観察地を結ぶ線で出入り数を集計し、その差し引きを罫の個体数とした。その結果を右ページの表に示す。

● 各回の特記事項

第1回2001年

罫は、ハシボソガラス(以下ボソ)とハシブトガラス(以下ブト)の混群で形成されている。12月2日、予備調査を実施した。

第4回2005年

調査は前回で終了予定であったが、今までの参加者の希望で調査を復活することにした。

16:00～20:00の間、参道でカラスの嫌う疑似音を流していた。

第6回2007年

当日は久伊豆神社のオカメ祭りと重なり、罫入りが遅れていた。

第9回2010年

久伊豆神社参道の水銀灯が増設された。

第10回2011年

カラスの罫の中に、ダイサギとコサギの100羽ほどの罫が形成された。

第11回2012年

観察地P4でミヤマガラス(以下ミヤマ)約200羽の進入を認めた。当地でのミヤマの罫入りは、調査開始以来初めてである。

サギの罫は、カラスの罫の中心部に移動していた。

2012年10月4日より2013年3月5日の間、埼玉県環境部自然環境課による「久伊豆神社(越谷市)周辺カラス追い払い業務」が行わ



P1で調査する大学生、高校生、小学生と保護者



れた。内容は、週に2回ほどの割合で鷹匠による鷹(和名モモアカノスリ2羽)を使つてのカラスの追い払いであった。

第12回2013年

ミヤマの群れの中にコクマルガラス(以下コクマル)を初確認した。今回以降、当地のカラスの罫は、ボソ、ブト、ミヤマ、コクマルの4種の混群で形成されている。

サギの罫にアオサギ2羽を確認した。

第13回2014年

今までにない激減である。

今回もミヤマ(200羽以下)とその群れの中にコクマル(5羽前後)を確認した。

サギの罫にアオサギは確認できなかった。

第14回2016年

激増しているミヤマを基に、4種のカラスの数を試算した。

まず、ミヤマが罫周辺の樹冠部や電線に就罫前集合する。集合にはコクマルも混じっている。それを撮影してミヤマ約1000羽、コクマルを約50羽と推定した。

残り約4500羽がボソとブトである。かつて

ボソとブトの罾であった時は、その割合は日算で5対5から6対4、今回は7対3程度であった。4500を7対3で分けるとボソ約3150羽、ブト約1350羽である。

サギの罾は確認できなかった。

第15回2018年

ブト減少、ミヤマ増加の傾向が続いている。

総数は前回と比較して微増である。ブトが減少している分をミヤマが補っていると考えている。今後、ミヤマの数はブトを超えることが予想される。

また、以前と比べミヤマの就罾前集合が遅くなり、日の入り時刻とほぼ同時になった。

別調査で、10月17日から翌年の3月13日の間、ミヤマの日中の活動場所を探し、罾に向かうコースと羽数を調査した。その結果、東(吉川市)コース、北東(松伏町)コース、北西(岩槻区)コースの存在を確認でき、各コースの合算でミヤマ1100+、コクマル40+を得た。

第16回2022年

前回の予想は検証できなかったが、大きな変化が3点あった。一つは、前回の半数に近い激減である。原因は、罾の中心地の大木5本(切り株の直径80~100cm)がナラ枯れにより伐採されたことが考えられる。

二つ目は、罾の約2.5km東の地点に市内で第二の罾が形成されたことだ。翌年の1月8日、別調査の際に見つけた。

三つめは、越ヶ谷高校グラウンドへの就罾前集合が変化した。例年、下の写真が常態であり、17:00頃には罾入りをしていた。今回は、16:28に運動場のフェンスに10羽、16:45に最大400羽ほど(ブト数羽、他はボソ)がフェンスに止まり、その内100羽ほどが3分ほど運動場に降りただけである。さらに17:00を過ぎても50羽以上の群れが複数、越ヶ谷高校の上を飛び回っていた。



越ヶ谷高校グラウンドでの就罾前集合2018.12.08 16:30
ハンボソガラス 750+、ハシブトガラス 5+
ミヤマガラス0、コクマルガラス0

越谷市における「カラス集団罾の個体数調査」

回	年	月・日	天気	参加人数	記録(羽)
1	2001	12,16	晴	25	4785
2	2002	12,15	晴	21	5610
3	2003	12,13	快晴	18	5625
	2004	中止			
4	2005	12,17	快晴	17	4081
5	2006	12,16	曇	16	4837
6	2007	12,15	晴	19	3607
7	2008	12,20	快晴	14	4576
8	2009	12,12	晴	15	5286
9	2010	12,18	晴	20	4961
10	2011	12,17	快晴	24	5710
11	2012	12,16	快晴	14	5283
12	2013	12,14	快晴	19	6791
13	2014	12,13	晴	13	4355
14	2016	12,10	快晴	21	5585
15	2018	12,8	晴・曇	20	5755
	2020	コロナ禍で中止、次年度へ延期			
	2021	コロナ禍で中止			
16	2022	12,10	晴	24	3039
平均				19	4993
※2014年より隔年実施に変更					
主催	第1~13回:越谷市自然ウォッチング指導員連絡協議会、 第14回:越谷市環境政策課、第15回~:越谷自然ガイド協会				

● 本調査の特徴と新しい活動

調査方法は、都市鳥研究会の「都心に於けるカラスの集団罾の個体数調査」を踏襲した。

調査活動は、近隣の住民が参加して行う「市民参加型」である。地元の自然団体、行政機関、呼びかけに応じた方々の協力で成り立っている。第1回からの参加者も数名いる。参加者には、感謝の意を伝えるために報告書に氏名を記し、毎回報告会を開催している。

今年の12月、大学生や高校生を中心に、第二罾周辺の調査が計画されている。詳細は、11月1日に本会HPをお借りしてお知らせする。多くの若手の参加を待っている!

〈引用文献〉

唐沢孝一・山根茂生・越川重治・滝之入新一「第3回都心に於けるカラスの集団罾の個体数調査(1995年)」URBAN BIRDS 13(1):2-23

唐沢孝一・越川重治・金子凱彦「第8回 都心に於けるカラスの集団罾の個体数調査(2021年)」URBAN BIRDS 38:2-19

唐沢孝一2023『都会の鳥の生態学』中央新書p161
山部直喜 2001~2022カラス集団罾の個体数調査(第1回~第16回)報告

山部直喜2021 越谷市の「カラス集団罾の個体数調査」URBAN BIRDS 38(巻頭言)

2023年春 シギ・チドリ類調査報告 日本野鳥の会埼玉 調査部

日時 2023年4月29日 9:28～11:36

場所 さいたま市 大久保農耕地

天候 晴

本州付近は日本の東に中心を持つ高気圧に覆われ南風が強吹きましたが、午前中は晴れて予定通りに調査ができました。

水は入っているもののいつもより田植えが遅く、終わっている田は半分以下でした。4月20日にA'区で100羽以上のムナグロを確認したとの報告がありましたが、当日は確認されませんでした。また、全体の個体数が10羽を切ったのは、春の調査では初めてとなりました。

〈調査結果〉

	A区	B区	As区	A'区
コチドリ	2	1	3	1
タシギ		1		
タシギ属不明種	1			

〈春のカウント結果(大久保農耕地)〉

年	2019	2020	2021	2022	2023
調査日	4月29日	閉 荒 園 川 中 総 で 合 調 運 査 動 中 公 止 園	4月25日	4月29日	4月29日
天候	晴		晴	曇	晴
1 ムナグロ	19		5	22	
2 コチドリ	4		11	13	7
3 タシギ	1		1	1	1
タシギ属不明種					1
合計	24		17	36	9

最近の5年間をまとめた表です。それ以前の記録は『しらこぼと』2012年6月号(No.338)と2022年7-8月号(No.453)をご覧ください。
※「タシギ属不明種」は、タシギ以外のタシギ属です。

ニホンジカ撮影にご注意を 海老原美夫(さいたま市)

2023年6月24日(土)正午過ぎ、さいたま市内で、ニホンジカの親子を撮影した(右写真)。今まで、タヌキ、キツネ、イタチ、アライグマなどを撮影してきたが、ニホンジカは初めてだ。

その後、数日ごとに撮影を続けたが、ある時、獣類に寄生するダニによるウイルス被害が気になりました。

このニホンジカ親子は、30mほど離れた所からゆっくり撮影できるので、特に近づく努力も必要ない。ある時、親が森の入り口付近に座り込み、2時間ほど過ごしてから、森の奥に姿を消したことがあった。

その間、私は遠く田んぼを挟んだ木陰で携帯椅子に座り、本を読みながら時々双眼鏡で覗いていたが、「今日は撮影できないか」と思いながら、気がついた。「今まで2時間も親が座っていた場所には、ダニがたくさん残されているかもしれないな」と。



獣類に寄生するダニ類が人につくと、ダニを仲介して危険なウイルスが人に感染して発病することもあるということは、多くの方がご存知のことと思う。

それは獣類に直接触れることだけが原因ではなく、獣類がいた場所、移動の途中などで触れた草や葉などにも危険があるのではないだろうか。今そこに動物はいなくても、ダニがいる可能性がある所には、近づかないことにしよう。



野鳥情報

蓮田市 西城沼公園周辺

◇12月5日、シメ8が葉を落した銀杏の梢に止まっていた。渡ってきたようだ。12月20日、電線に胸に縦縞のある小鳥が1羽。良く見たらビンズイだった。ここでは初めての観察。他にカルガモ、カイツブリ、ハイタカ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、ツグミ、オナガ、ヤマガラ、ウグイス、エナガ、メジロ、ジョウビタキ、ハクセキレイなど(長嶋宏之)。

さいたま市緑区 見沼自然公園

◇12月4日、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、バン、オオバン、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ、ウグイス、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ(青山美奈子)。

◇1月6日、ヒドリガモとオナガガモの混群50が芝生で餌をもらっている。オオバン10、バン、オカヨシガモ♂3♀2、ハシビロガモ♂1♀2、コガモ、カルガモ。タシギ1とクイナ1がヨシ原の縁で休息。用水でカケスが水飲み(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜

◇12月7日、下沼東側で樹冠にとまるノスリ1。上沼でイカルチドリ1、ダイサギ1、アオサギ1、セグロセキレイ♂1♀1の番い、カワウ1、カワセミ♂1、コガモ36、ヨシガモ♂1、オオバン16、カイツブリ3、カラスにモビングされるオオタカ若鳥。クイナの声。午後4時過ぎ、遠方より「キュルルル…」とカイツブリに似たヒクイナの声。ヨシ原をなめるように飛ぶハイタカ♀。ツグミ6が飛来。ムクドリ300+、時入り。黒浜中学校西縁でルリビタキの声。国立病院機構東埼玉病院東縁でヤマガラ3、シジュウカラ、メジロ、アオジ、ウグイスとともにビンズイ3。12月12日、上沼北側でヨシ原より「キョッキョッ」とヒクイナの声。横断道路でオオタカ飛来、旋回しつつ高空へ。ノスリも飛来、同様に高空へ。北縁のブッシュにカシラダカ1(鈴木紀雄)。

蓮田市 山ノ神沼

◇12月8日、ヒドリガモ36、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、ハジロカイツブリ、ゴイサギ2、ダイサギ1、バン1、オオバン2、トビ1、カワセミ1、ハクセキレイ、セグロセキレイなど(嶋田富夫)。

越谷市 県民健康福祉村

◇12月9日、池の島でカワウが鳴いて首をそらすディスプレイをしていた。ヒドリガモ100、カルガモ25、オオバン(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区 和土住宅公園

◇12月9日、池にヒドリガモ約100の群れ中にアメリカヒドリ♂1と♀と思われる個体や雑種らしき数羽。12月22日、カルガモ26、キンクロハジロ♂2♀3、カワセミなど(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区野孫

◇12月9日、送電線鉄塔に飛来したハヤブサ1、しばらくして北西へ。その先の遠方にハヤブサ2が飛んでいた(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区飯塚

◇12月9日、地上にいるノスリ1がカラスにモビングされていた(鈴木紀雄)。

さいたま市・川口市 芝川第一調節池

◇12月10日、オオハクチョウ2、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ♀3~4、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ユリカモメ1、ノスリ1、カワセミ、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ベニマシコ、ホオジロ、アオジ(青山美奈子)。

◇12月11日、シジュウカラ、キジ、イソシギ、コゲラ、カワラヒワ、カワウ、ダイサギ、オオバン、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、カイツブリ、コサギ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、トビ、ミサゴ、オオタカ、スズメ、カシラダカ、ホオジロ、ウグイス、シメ、ジョウビタキ(村越百合子)。

◇1月1日午後1時30分~3時30分、マガモ、コガモ、カルガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、ミコアイ

サ。マガモは多いが、他のカモ類は数が少ない。午後2時50分、マガモ♀1、コガモ♂1が飛んできて、次々着水。その直後、ハイタカ♀1(下写真)が北の方から猛スピードで通過、池の南縁の木の高い所にとまるが、すぐに飛び去る。他にカンムリカイツブリ50+、ハジロカイツブリ2+、カイツブリ、クイナ(声)、パン、オオパン、オオタカ1、トビ1、カワセミ♂1、ジョウビタキ♂1など(藤原寛治)。



さいたま市緑区 浦和くらしの博物館民家園

◇12月11日、メジロ、ツグミ、ムクドリ、チョウゲンボウ、カワセミ、モズ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジなど(村越百合子)。

加須市 デンソー脇の調整池(54391439)

◇12月15日、マガモ100+、カルガモ150+、ハシビロガモ30+、コガモ90+、ミコアイサ30+、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、シジュウカラ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、ベニマシコなど(嶋田富夫)。

久喜市 久喜菖蒲公園

◇12月15日、昭和沼でヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオパン、ミヤマガラス、シジュウカラ、ウグイス、メジロなど(嶋田富夫)。

飯能市 天覧山～多峯主山～飯能河原

◇12月17日、天覧山登山口～天覧山頂上迄、ハクセキレイ、カワラヒワ、シジュウカラ、メジロ、キクイタダキ、ウグイス、コジュケイ、コゲラ。頂上～多峯主山～登山道入口、オオタカ、ジョウビタキ、エナガ、カケス。登山道入口から飯能河原、セグロセキレイ3、キセキレイ2、キジ、カワセミ、ホオジロ、カシラダ

カ、アトリ5、アカゲラ、アオゲラ2。飯能河原～東飯能駅、オナガ、上空にノスリ3、トビ4(村越百合子)。

越生町 大高取山

◇12月21日、登山道入口～頂上、コジュケイ、メジロ、モズ、コゲラ、ハクセキレイ、ノスリ3。頂上～桂木観音、ホオジロ、シメ。桂木観音～虚空蔵尊～虚空蔵尊さくら公園、エナガ、ジョウビタキ♂、♀、ヤマガラ、シジュウカラ、オナガ、ウグイス、アオジ、ミソサザイ、ルリビタキ♂1、♀1、ヒヨドリ、キセキレイ、セグロセキレイ。虚空蔵尊さくら公園～越生駅、カシラダカ、オオタカ、トビ3など(村越百合子)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園

◇12月21日、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、オオパン、カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、イカルチドリ、タシギ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、ミソサザイ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ。12月31日、カワウ、ヒドリガモ50、マガモ♂1♀1、カルガモ、コガモ2、アオサギ、ダイサギ、イカルチドリ、オオタカ、カワセミ♀1、コゲラ、アリスイ、モズ、カケス、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、ミソサザイ、トラツグミ、ツグミ、シロハラ、ルリビタキ♂若鳥、ジョウビタキ♀、ハクセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ♂若鳥、シメ、アオジ、カシラダカ。1月3日、カワウ、カルガモ、コガモ、アオサギ、ダイサギ、オオパン、タシギ、イカルチドリ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ、カシラダカ、オオジュリン。1月6日、村国池奥に美しいオオタカ成鳥♂飛来。ハイタカ2度飛ぶ。セグロカモメ2、ルリビタキが路上に出現。ジョウビタキ♂1♀2。ツグミがやっと増えてきた。1月9日、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオパン、イカルチドリ、クサシギ2、セグロカモメ、カワセミ、コゲラ、モズ、カ

ケス、シジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ベニマシコ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区新方須賀

◇12月22日夕刻、電線のミヤマガラス300の群れ中にコクマルガラス淡色型1、暗色型1、ハイタカ飛ぶ(鈴木紀雄)。

草加市柿木町 そうか公園

◇12月24日、29日、1月15日、ムジセッカ1、越冬中(鈴木 功)。

◇1月17日午後12時～2時18分、ムジセッカ1。曇り空、時折日が射すうすら寒い天気だが、風がないのが幸いだ。パーダー、カメラマンは私以外だれも見えず。ウグイスに比べて動きがすばしっこく、松や楠、ヨシ原などを飛び回り目で追うのが大変。地鳴きは高く短く「トウツツ」と聞こえた。鳴かなければウグイスとの識別は難しい。他にオカヨシガモ♀4♀1、ヒドリガモ多数、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ多数、ホシハジロ♂1、バン成鳥1、オオバン10+、シジュウカラ2、ウグイス1、エナガ、メジロ、ツグミ1、ハクセキレイ、アオジ1(石川敏男)。

さいたま市 鴨川

◇12月26日、上浅間橋～下流の学校橋でマガモ40+、オオバン8+、カルガモ2、ホシハジロ1。セグロカモメ1が上空を通過中に川の中に魚の死骸を見つけて急降下。タシギ6が土手の水溜りや草地で採餌。他にカワウ3、セグロセキレイ、ハクセキレイ。1月6日、島根橋～上流の学校橋でオオバン24+、カルガモ12+、コガモ35+、ハシビロガモ2、スズメ20+、カワラヒワ15+、エナガ10+とシジュウカラ2の混群、コゲラ、アオジ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、イソシギ、モズ、ツグミ、アオサギなど(大塚純子)。

さいたま市岩槻区大口(54397539)

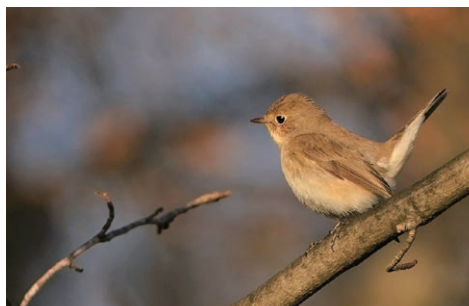
◇12月26日、休耕田でミヤマガラス約250(嶋田富夫)。

松伏町 まつぶし緑の丘公園

◇12月26日、マガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイ

サギ、バン、オオバン、カワセミ、コゲラ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、ニシオジロビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワ。1月4日、マガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、カワセミ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、ニシオジロビタキ、ハクセキレイ(嶋田富夫)。

◇12月29日、ニシオジロビタキ1(下写真)(鈴木 功)。



◇1月8日、水辺ゾーンは、島の木にオオタカ成鳥がとまっていたせいか、カモ類は少なかった。里山ゾーンの南麓でオジロビタキらしき小鳥が地面に降りたり、あちこちの木にとまったりしている。動きが速く忙しないので、スコープには入れられず、何とか撮れた画像を見たら、下嘴が淡黄褐色のニシオジロビタキだった。その後に行った大落古利根川にシギ・チドリ類はいなかった。セグロセキレイ、タヒバリなど(高田範之)。

◇1月19日、築山中腹の疎林でニシオジロビタキ1。2羽いるらしいが1羽のみ確認。上空をハイタカ♀1、ツミ2、ノスリ1など飛翔。池でミコアイサ♀2など。ヒクイナ1とクイナ1が並んでヨシの間の水面を移動。その後、クイナの追いかけ合い発生(鈴木紀雄)。

越谷市 越谷レイクタウン(53396655)

◇12月29日、ヨシガモ♀1、カンムリカイツブリ8。1月1日、ハジロカイツブリ1、カンムリカイツブリ9、ベニマシコ1。1月15日、カンムリカイツブリ8、ミサゴ1(鈴木 功)。

さいたま市岩槻区太田

◇12月31日、ジョウビタキの♂と♀が縄張り争いし、♂が負けて去って行った(鈴木紀雄)。

加須市柳生

◇1月3日、田んぼでコチョウゲンボウ♀型1、ミヤマガラス200+（鈴木 功）。

さいたま市中央区上落合

◇1月5日、八幡小学校横の鴻沼川の落合橋付近でカワセミ1、アオサギ1、カルガモ4、コガモ3（大塚純子）。

さいたま市岩槻区 慈恩寺親水公園

◇1月7日、オオバン22、コガモ22、カルガモ19、ヒドリガモ♂1、ヨシガモ♂2♀2、マガモ♂1♀3（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区在家

◇1月8日、田んぼを耕耘中のトラクターの周りでタゲリ8、ハクセキレイ20、モズ1が採餌。他にタヒバリ30+、ヒバリ、ハシボソガラスなど。トラクターは野鳥のお友達?（大塚純子）。

さいたま市・戸田市 彩湖(53395499)

◇1月8日午前10時、カモ調査のカウント中に、上空を通った時に空が暗くなる程のカワウの一斉飛び立ちを見た。群れは、数回上空を旋回した後、荒川上流方向に飛んで行った。群れ全体は70mmのレンズでも入りきらなかった(下写真)が、800+が写っている(金井祐二)。



さいたま市緑区 トラスト保全第1号地周辺

◇1月8日、メジロ、ヒヨドリ、シメ6、モズ5、アカハラ4、シロハラ5、エナガ、ウグイス、カルガモ、ツグミ6、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ8、セグロセキレイ、ハクセキレイ、キジ、ジョウビタキ、コゲラ、カワセミ、ホオジロ、カシラダカ、オオタカ、アオジ、カワラヒワ、カワウ、コジュケイ(村越百合子)。

蓮田市 西城沼公園とその周辺

◇1月9日、残り柿を8~10羽のメジロが採餌

しているところに、1羽のヒヨドリが来て、メジロを追い払って去った。しばらくするとメジロは戻って柿を再び食べ始めた。初冬に姿を見たきり、姿を見せなかったカケスが戻って来た(長嶋宏之)。

狭山市 下奥富河川敷公園(53396353)

◇1月14日、カワウ、アオサギ、ダイサギ、モズ、シジュウカラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、シメ、コイカル、イカル、アオジ(嶋田富夫)。

越谷市西方 葛西用水路

◇1月15日、オシドリ♀1(写真有)(鈴木功)。

伊奈町 町制施行記念公園～北部第1号調整池

◇1月15日、オナガ、メジロ、シメ、カルガモ、コサギ、ダイサギ、カワウ、カワラヒワ、コガモ、カワセミ、アオサギ、マガモ、ヒドリガモ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キジ、モズ、シジュウカラ、アオジ(村越百合子)。

さいたま市岩槻区南辻

◇1月15日、遊水池でヒドリガモ40、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ♂1(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区末田

◇1月16日、永代橋付近でクサシギ1、コガモ50、カルガモ6、ヒドリガモ60+(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区膝子

◇1月17日、草原でホオアカ2、オオジュリン2、コジュリン♂1(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区宮町

◇1月20日、久伊豆神社裏手の森に罅入りするミヤマガラス群れ中にコクマルガラス淡色型6、暗色型4を確認(鈴木紀雄)。

表紙の写真

カッコウ目カッコウ科カッコウ属ツツドリ

昨年10月16日、草加市そうか公園で撮影した赤色型幼鳥です。

鈴木 功(草加市)



行事案内

要予約と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に氏名・住所・電話番号などを記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーやベテラン会員たちが望遠鏡で見せてくれます。**体調を整えてご参加ください。**



ツバメチドリ幼鳥(鷲崎敏章)

参加費：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。実際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

※「見どころ」などについて、より詳しい情報が会のHP「[今月の探鳥会](#)」に載っています。

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期 日：11月3日(金・祝)
集 合：午前9時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。
交 通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バス まつぶし緑の丘公園行8:27発で「まつぶし緑の丘公園」下車。
担 当：佐野、石川(光)、長野、橋口、山部
見どころ：池にカモ、川にイカルチドリ、コチドリ、イソシギなどを期待。

伊勢崎線 羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車。県道を渡り公園へ。

共 催：羽生水郷公園管理事務所
担 当：相原(修)、相原(友)、新井、関口、中川、長嶋、細田、茂木
見どころ：ヨシガモなどのカモ類、ヨシ原の小鳥、上空を舞う猛禽を探しましょう。

上尾市・丸山公園探鳥会

期 日：11月4日(土)
集 合：午前7時50分、丸山公園南口入口付近。
交 通：JR高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場から「尾32」西上尾第二団地經由リハビリセンター行7:26発で「丸山公園入口」下車、徒歩約5分。
解 散：11時頃、集合地付近で。
担 当：近藤、秋葉、浅見(健)、柴田、瀬尾、永野、村越、吉原(早)
見どころ：早朝の公園で冬鳥との出会いを。

さいたま市・大宮第二公園探鳥会

期 日：11月11日(土)
集 合：午前9時、大宮第二公園ギャラリー棟(管理事務所)前。
交 通：東武野田線大宮公園で下車。第二公園まで徒歩約20分。車の方は大宮第二公園駐車場が利用可能。
共 催：大宮第二公園管理事務所
担 当：浅見(徹)、青木、浅見(健)、小林(み)、近藤、瀬尾、三好
見どころ：公園と芝川で間近にカモやカワセミ。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期 日：11月9日(木)平日
集 合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。
交 通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)を利用。東武

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日：11月12日(日)
集 合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交 通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:53発に乗車。
解 散：正午ごろに野鳥の森池周辺で
担 当：茂木、新井、大畑、関口、高橋、千鳥、中川
見どころ：ジョウビタキ、ツグミなどの小鳥。

川越市・伊佐沼探鳥会

期 日：11月15日(水)平日
集 合：午前9時30分、伊佐沼公園駐車場
交 通：本川越駅(8:40)または川越駅東口(8:45)から西武バス[本52]川越グリーンパーク行に乗車、「伊佐沼冒険の森」8:58下車、徒歩約10分。
解 散：正午ころ農業ふれあいセンター周辺。
担 当：小林(み)、浅見(徹)、今村、藤田
見どころ：カモ類。シギ・チドリ類。希少種キタムウの花(虫メガネ持参推奨)。

さいたま市・見沼自然公園 ビギナー探鳥会

要予約

期 日：11月18日(土)
集 合：午前9時、公園管理事務所付近ベンチ。
交 通：JR大宮駅東口⑦番バス乗り場8:20発「浦和学院高校」行で「締切橋」下車。バス停からご案内します。
募集人数：20名一般可
HPで10/21から受付開始
担 当：大井、浅見(健)、浅見(徹)、市原、小林(み)、富田(英)、富田(由)
見どころ：カモの観察に絶好の機会。オスは換羽が進みきれいに。家族での参加、大歓迎。

春日部市・内牧公園探鳥会

期 日：11月18日(土)
集 合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。
交 通：春バス(コミュニティバス)が便利です。(1)東武野田線豊春駅西口発8:06→内牧公園着8:21、(2)東武伊勢崎線北春日部駅西口発8:38→内牧公園着8:50。または、東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナース行き8:41発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。
担 当：石川(敏)、青山(美)、佐野、中村(直)、長野、橋口、別井、三好
見どころ：林、池、田んぼで小鳥を探鳥。昨年は期せずしてハシビロガモがいました。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：11月19日(日)
集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス1番乗り場「さいたま市立病院行」8:21発で終点下車。
後 援：さいたま市立浦和博物館
担 当：浅見(徹)、青木、浅見(健)、楠見、小菅、小林(み)、須崎、中橋、畠山、三好
見どころ：畑にジョウビタキ、芝川にコガモ。

嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期 日：11月19日(日)
集 合：午前8時40分、東武東上線 武蔵嵐山駅西口。または午前9時15分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。
※博物館駐車場は博物館利用者専用ですので、駐車できません。
解 散：正午ころ都幾川桜堤公衆トイレ付近で。
交 通：東武東上線 川越8:00発、または寄居7:51発に乗車。
担 当：千島、新井、今村、関口、中村(豊)、持丸、山本(恵)
見どころ：林でイカル、シメ、アオジ、カシラダカなど。河原でツグミ、タヒバリ、クサシギなど。

志木市・柳瀬川探鳥会

期 日：11月23日(木・祝)
集 合：午前9時、東武東上線 柳瀬川駅西口、スーパーサミット前の円形広場。
解 散：正午ころ、旧村山快哉堂付近。
担 当：鈴木(秀)、神場、志村、中村(治)、中村(祐)、持丸、山口
見どころ：カモ、イカルチドリ。猛禽も期待。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期 日：11月25日(土)
集 合：午前9時、環境学習館駐車場。
交 通：朝日バス江ヶ崎馬場行 蓮田駅8:34→新井団地8:40下車 徒歩5分。
担 当：小林(み)、青山(美)、石井(健)、菱沼(一)、三好
見どころ：ホオジロ類やベニマシコ。猛禽も。

宮城県・伊豆沼、蕪栗沼探鳥会

要予約

期 日：11月25日(土)～26日(日)
集 合：25日、東武線 岩槻駅東口。午前6時30分出發。
解 散：26日午後9時、集合場所の予定。ただし、交通事情により変更有り。
交 通：集合地から貸切バス(中型)を使用。

担当：入山、菅野、櫻井、佐野
募集人数：23名(日本野鳥の会埼玉会員優先)。最少催行人数16名。
申し込み：当会HPで10月1日から受付開始。
費用：40,000円の予定(往復の交通費・宿泊代・食事代・保険代等を含む)。
※過不足の場合は当日清算
見どころ：初心者大歓迎。マガンの罫入りと朝の飛び立ち。感動すること間違いなし!
その他：宿泊先はビジネスホテル『ルートイン登米』で、個室での宿泊です(家族でのツインルーム利用可)。夕食は懐石料理、昼食は海鮮丼の予定で、簡単な夜食も用意しています。参加者には後日詳しく案内。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：11月26日(日)
集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。
交通：西武新宿線 本川越8:40発、または所沢8:38発に乗車。
解散：正午ころ、稲荷山公園で。
担当：長谷部、石光、金井、佐藤(久)、瀬尾、中村(祐)、山口、山本(真)
見どころ：ツグミ、シロハラ、ジョウビタキなど。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月2日(土)
集合：午前9時30分、西武狭山線 西武球場前駅前。
解散：正午ころ、狭山湖堤防にて。
担当：石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、長谷部、持丸
見どころ：昨冬は約500羽のトモエガモ。今冬は?

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月2日(土)
集合：午前8時45分、中央エントランス駐車場。
交通：東武線館林行 新越谷7:23春日部7:38東武動物公園7:43で南栗橋行に乗り換え 南栗橋7:54着で東武宇都宮行に乗り換え 柳生8:10着。またはJR宇都宮線下り大宮7:27 栗橋7:55着 東武日光線に乗り換え 柳生8:10着。遊水地への標識に従って中央エントランスへ。
解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーンで。
担当：佐野、浅見(徹)、小林(み)、野口、

別井、山本(恵)、山本(巧)
見どころ：湖でカモやカイツブリ。ベニマシコやオオジュリンなど冬の小鳥にも期待。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月3日(日)
集合：午前9時、北本自然観察公園・埼玉県自然学習センター玄関前広場。
交通：JR高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス8:38発で「自然観察公園前」下車。
解散：正午前に集合地で。
担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大畑、近藤、柴田、関口、永野、山本(恵)、吉原(早)
見どころ：冬鳥を探します。空には、猛禽も。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月3日(日)
集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。
交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行8:37発で「念仏橋」下車。
担当：須崎、伊藤、大井、手塚、中橋、野口、藤田
見どころ：猛禽類やハクチョウの飛来を期待。
ご注意：コースの途中にトイレはありません。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月10日(日)
集合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:53発に乗車。
解散：正午ころに野鳥の森池周辺で
担当：新井、大畑、関口、高橋、千島、中川、茂木
見どころ：実に4年ぶりの冬の大麻生。冬の小鳥たち、猛禽たちとの再会に期待です。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月13日(水)平日
集合：午前8時45分、中央エントランス駐車場。
交通：東武線館林行 新越谷7:24春日部7:38東武動物公園7:43で南栗橋行に乗り換え 南栗橋7:56着で東武宇都宮行に乗り換え 柳生8:10着。ま

たはJR宇都宮線下り大宮7:27 栗橋
7:55着 東武日光線に乗り換え 柳生
8:10着。遊水地への標識に従って
中央エントランスへ。

解 散：正午ころ、谷中村史跡ゾーンで。
担 当：佐野、浅見(徹)、野口、別井、山本
(恵)、吉原(早)、吉原(俊)
見どころ：カモやカイツブリ、冬の小鳥など。チュ
ウヒやミサゴ、好運ならコウノトリも。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期 日：12月14日(木)平日
集 合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎
駅南口階段下。集合後徒歩で現地
へ。または午前9時、加須はなさき公
園管理事務所前。
交 通：東武伊勢崎線 春日部8:11→久喜
8:30→花崎8:37。またはJR宇都宮
線 大宮7:53→久喜8:15で東武伊
勢崎線乗り換え。
解 散：正午ころ、現地で。
共 催：加須はなさき公園管理事務所
担 当：茂木、相原(修)、相原(友)、石川
(敏)、長嶋、別井
見どころ：水辺や林の冬鳥、ツグミ、シメ、カワラ
ヒワなど身近な小鳥たち。猛禽も。

さいたま市・秋葉の森総合公園探鳥会

期 日：12月16日(土)
集 合：午前9時30分、公園内管理棟付近。
交 通：西大宮駅バス乗り場から「西大02」わ
くわくランド行9:02発、または、大宮駅
西口⑧番バス乗り場から「大62」リハ
ビリセンター行8:53発で、どちらも「秋
葉入口」下車、徒歩約15分。
解 散：11時30分、集合地で。
担 当：近藤、青木、今村、浅見(健)、浅見
(徹)、瀬尾、村越
見どころ：ゆっくりと冬鳥たちを観察。昨年はルリ
ビタキ、エナガ、サンショウクイも。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：12月17日(日)
集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから
東武バス1番乗り場「さいたま市立病
院行」8:21発で終点下車。
後 援：さいたま市立浦和博物館

担 当：青木、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、
小菅、小林(み)、須崎、中橋、畠山、
三好
見どころ：今年最後の三室定例締めくり。出会
えるのは、カワセミ? オオタカ?

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期 日：12月17日(日)
集 合：午前9時40分、公園南入口内噴水広
場付近(各自で入園してください)。
解 散：正午ころ、山田大沼または展望広場。
交 通：東武東上線 森林公園駅北口から熊
谷駅南口行バス9:20発で「滑川中学
校」下車。歩道橋を渡り少し戻る。
費 用：参加費と入園料大人450円、中学生
以下無料、65歳以上210円(要年齢
確認)。
担 当：鈴木(秀)、大畑、佐久間、千島、中村
(豊)、藤澤
見どころ：沼の水鳥や木立・藪の小鳥を探して
散策します。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期 日：12月23日(土)
集 合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道
16号側駐車場。
交 通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口
から朝日バス8:43発しらこぼと水上
公園行「村国入口」下車。バス停から
ご案内します(岩槻駅での案内人の
出迎いはありません)。
担 当：長野、青山(美)、石井(健)、石川
(敏)、内田、鈴木(紀)、鈴木(庸)、
長嶋、藤原
見どころ：公園内や平坦な元荒川沿いの道を
歩いてシメやツグミなどの冬鳥を探し
ます。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期 日：12月24日(日)
集 合：午前9時20分、宇和田公園駐車場。
交 通：東武伊勢崎線 東武動物公園駅東
口から境車庫行8:40発のバスで「上
宇和田」下車。北方向に徒歩5分。
担 当：佐野、浅見(徹)、小林(み)、近藤、
野口、別井、山本(巧)
見どころ：2023年最後の探鳥会。昨年はなんと
コチョウゲンボウが見られました。



行事報告

2月5日(日) さいたま市 民家園周辺

参加:22(会員13)名 天気:晴

ヒシクイ、オオハクチョウ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、オオバン、トビ、チュウビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、アカハラ、ジョウビタキ、スズメ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン(44種)(番外:ドバト) 自称ビギナーの方々が10名を超えるフレッシュな顔ぶれとなった。まずは越冬しているオオハクチョウ2羽とヒシクイ1羽を確認。遠くにミコアイサ、カンムリカイツブリなど。そして、ジョウビタキのメスがポーズ。しめはベニマシコのオス。 (大井智弘)

2月5日(日) さいたま市 彩湖 Young

参加:41(会員27)名 天気:晴

キジ、オカヨシガモ、ヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、ミサゴ、トビ、ハイトカ、オオタカ、ノスリ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン(44種)(番外:ガビチョウ) 開始早々にミサゴが上空を飛び、その後もハイトカ、ハヤブサなど猛禽類多数。湖ではたくさんのカモたち。この日は小規模なマラソンイベントが開催されていたため、急遽コースを変更して桜草公園近くまで行ってみた。おかげで綺麗なヨシガモが見られた。 (廣田純平)

2月8日(水) さいたま市 秋葉の森総合公園

参加:26(会員26)名 天気:曇

カルガモ、キジバト、オオタカ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(22種) 開始直後の枯草の原でシメ、アオジ、カワラヒワ、モズ、ジョウビタキが顔をだす。森ではメジロ、シジュウカラ、エナガ。ヨシ原の脇の小道で「オオタカ」の声。上空を横切って行く。アトリ10羽が地上に降りて来て採餌し、一行は釘付け。保護ゾーンのみで終了。 (近藤龍哉)

2月9日(木) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加:23(会員23)名 天気:晴

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、トビ、ハイトカ、ノスリ、コゲラ、モズ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、ピンズイ、アオジ(30種)(番外:ガビチョウ) 出発して間もなくコゲラ、シジュウカラ、エナガ、メジロの混群。その後ツグミ、ジョウビタキ、アオジの姿。上空にはトビ、ハイトカ、ノスリ。見頃の梅林を通ると、福寿草の間にピンズイの姿。その後が続かず、山田大沼に着いた。カモはだいぶ数が減っていたが、ハシビロガモが多く見られた。 (中村豊己)

2月11日(土) 東京都 浮間公園 Beginner

参加:20(会員14)名 天気:晴

オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、オオタカ、カワセミ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ(24種)(番外:ドバト) ポイントをカモ類に絞り、ここで多く見られる数種類のカモの特徴を記した資料を配布し、それをもとに参加者がそれぞれカモ探しをするという形を試みた。ゆっくり観察したので、ほとんど全員が、このカモを一通り見ることができた。 (小林みどり)

2月16日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加:21(会員17)名 天気:快晴

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン(33種)(番外:ドバト) 青毛堀川ではカルガモ、コガモ、オオバンが数羽ずつ。公園周辺の草むらにも鳥影はなく公園に戻る。ツグミ、シジュウカラ、ヒヨドリ。池にヒドリガモ多数、中にマガモ、ホシハジロ、ハシビロガモが混ざっていた。小川にカワセミ♂♀。(茂木幸蔵)

2月18日(土) 上尾市 丸山公園

参加:32(会員30)名 天気:晴

コジュケイ、キジ、マガモ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、コサギ、ハイタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(37種)(番外:ガビチョウ) 大池はかいぼりで水がない。ハクセキレイ、カワラヒワ、コゲラなどを見ながら進む。蛍の里の手前から忍び足で近づき、トラツグミを遠くからそっと観察。パーベキュー場でキジ、シロハラ、ツグミ、湿地脇の細道でアオジ、カシラダカ、ベニマシコなどが次々に出る。土手ではノスリ、終わりに、小川でカワセミとコサギ。(近藤龍哉)

2月19日(日) さいたま市 三室地区

参加:47(会員32)名 天気:晴

キジ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(30種)(番外:ドバト)

久々の大所帯となった。この日の主役はツグミとホオジロ。いたるところで観察できた。色鮮やかなキジ♂、カワセミ♂も登場。畑ではヒバリのさえずり。野鳥も春の訪れを感じとっているようだ。(須崎 聡)

2月25日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加:29(会員27)名 天気:晴後曇

マガモ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、コサギ、オオバン、イカルチドリ、イソシギ、セグロカモメ、トビ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ヒレンジャク、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(34種) 前半は鳥の出が芳しくなかった。その後、テストコース終点から元荒川に出るとタヒバリ、イカルチドリ、セグロカモメ、イソシギなどが出迎えてくれた。再びテストコースに戻ると川側から飛んできたヒレンジャク9羽が林の木に止まり、全員でじっくり観察。参加者の皆さんへのこの日最大のプレゼント。(長野誠治)

2月25日(土) 坂戸市 浅羽ビオトープ

参加:34(会員34)名 天気:晴

コジュケイ、キジ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、クロジ、オオジュリン(34種)(番外:ガビチョウ) 当地で初めての探鳥会。2班でスタート。まずはジョウビタキがお出迎え。コジュケイの声を聞きながら高麗川へ出るとセキレイ3種。クイナも出てきた。小川沿いにカシラダカやアオジ、シメなどを見ながら進み、最後に2班が合流したところでやっとベニマシコが登場。(佐野和宏)

3月4日(土) 千葉県 銚子漁港

参加:32(会員32)名 天気:晴

オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、スズガモ、クロガモ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ

リ、キジバト、オオミズナギドリ、ヒメウ、カワウ、ウミウ、アオサギ、クロサギ、オオパン、ミツユビカモメ、ユリカモメ、ヒメカモメ、ウミネコ、カモメ、ワシカモメ、シロカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ムクドリ、ツグミ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ(32種) 第三漁港に到着したら、なんと珍鳥ヒメカモメがいるとのこと、ここから探鳥開始。ヒメカモメは対岸の防波堤で見つかり、その後は近くまで来てくれた。昼食後は、活魚料理店“一山いけす”付近で探鳥。クロサギが飛び、岩場にはヒメウも。沖合にはクロガモの群れ。腹ごなしでのんびりの予定が、予想外の鳥がたくさん出た。(入山 博)

3月5日(日) 狭山市 智光山公園

参加:29(会員27)名 天気:晴

コジュケイ、オシドリ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオパン、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ミソサザイ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(32種)(番外:ドバト、ガビチョウ) 今回のヒットはオシドリ♀。地味な羽衣ながらしっかり存在感を示していた。園内の樹の上ではアオサギがコロニーを形成中。開始早々満開の白梅の木にウグイスが入り、全員で姿を観察出来たのはラッキーだった。「春浅くいまだ芽吹かぬ樹の枝に アオサギ 急ぐ露出の巣作り」(石光 章)

3月11日(土) さいたま市 見沼自然公園

参加:28(会員15)名 天気:晴

オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオパン、トビ、カワセミ、コゲラ、アオゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ(30種) 対象を親子・家族・ピギナーに絞って実施したためフレッシュな顔ぶれとなった。3月は鳥たちにとってはすでに繁殖期で、チョウゲンボウは鉄塔でカップ

ル、コガモは数羽のオスが求愛ダンスをして必死にメスにアピール、カルガモもつがいが見られた。池でカワセミが姿を見せると小学生たちの歓声。最後にはアオゲラが頭上に登場して、またも歓声があがった。(大井智弘)

3月12日(日) 栃木県 日光東照宮裏山

参加:25(会員25)名 天気:晴

キジバト、カワウ、トビ、ノスリ、クマタカ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キクイタダキ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、キバシリ、ミソサザイ、ムクドリ、カワガラス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ホオジロ(29種)(番外:ドバト、ガビチョウ) 開始早々に、クマタカ出現。霧降大橋から大谷川右岸を遡上。途中の堰にカワガラスが現れた。東照宮裏の寺社をめぐる小道へ。カラ類を楽しみながら稲荷川右岸道へ。高い梢にキクイタダキ! 低い樹幹にキバシリも! さらに遡ると、ミソサザイ。滝尾神社近くの川辺で昼食。午後は稲荷川右岸を下って神橋近くの小公園で鳥合わせ。(浅見 徹)

3月16日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加:32(会員28)名 天気:晴

ヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、パン、オオパン、タシギ、トビ、ノスリ、カワセミ、アリスイ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、セッカ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン(38種)(番外:ドバト) 新型コロナが5類となりマスク着用が個人判断となって初めての探鳥会、殆どの参加者がマスクを着用し様子見。湿地の散策路で樹上にアリスイがいて全員でじっくり観察、少し歩くとベニマシコが現れた。この2種は1月に続き観察でき、ラッキーであった。ここではあまり観ないタシギも現れ満足して探鳥会を終わった。(相原修一)

3月18日(土) 秩父市 秩父ミュージアムパーク

雨のため中止。(長野誠治)



連絡帳

●総会を開催します

コロナ禍でしばらくできなかった総会を開催します。

日時：2023年11月14日(火)、
午後2時～3時。

場所：浦和コミュニティセンター
(浦和駅東口パルコ10階)
第6集会室(定員39人)。

各団体からの予約申し込みが多く、土曜日曜の広い会場を確保することができませんでした。

狭い会場のための、多くの会員が集まると、一部入室制限せざるを得なくなる場合もあるかもしれません。その場合は、どうかお許しください。また、例年開催していた記念講演を今回は取りやめ、総会後の懇親会も予定していません。

活動報告

8月6日(日)16時00分-40分、当会事務所で開催。オンラインを含めて参加者16名。

- 1.11-12月探鳥会計画(案)。
- 2.見沼・さぎやま交流ひろばサテライト企画。9/10(日)、さいたま新都心公園
- 3.みぬま秋フェス。11/4(土)-5(日)、さぎ山記念公園。
- 4.リーダー研修会。リーダー候補者5名。9/3(日)午前。北本自然観察センター。
- 5.オンライン野鳥フォーラム。今後の予定を討議した。

8月16日(水)-18日(金)、メール交換による役員会を開催。

山部編集部長から13日(日)にメールで提出された第1号議案「昨今の諸物価値上がりに伴う、会報『しらこぼと』印刷代の高騰について」(本年3-4月号まで29,610円、5-6月号34,060円、7-8月号35,540円)。今後も値上げの可能性はあるが、ネット印刷を続けたい。発注先は編集部に一任願う。発注先・金額変更時は役員会に報告する。」と、長野普及部長から同日届いた第2号議案「令和5年11-12月探鳥会計画(案)」を役員会MLでメールアドレスのある役員に送付しました。

期限である8月18日(金)午後2時まで意見・異議は役員会MLに届かなかったもので、2議案とも承認されました。

8月22日(火)-24日(木)、メール交換による役員会を開催。事務局が上程した「11月14日(火)、午後2時～3時、浦和コミュニティセンターで、総会を開催する」との議案は、8月24日(木)午後2時の期限までに意見、異議のメールが役員会MLに届かなかったため、承認されました。

編集後記

酷暑の時は外に出たくない。自然と読書量が増える。今夏の私の一推しは文春新書『日本百名虫』か。本巻と別巻で構成されており、各虫と人とのかわり、そして著者の思いが熱く綴られている。文体も見事で、ヒサマツミドリジミの文末では、部屋のクーラーが止まっていることを忘れていた。(山部)

しらこぼと 2023年9-10月合併号(第460号)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <https://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org またはTEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635
〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。